



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	72,290	△4.3	4,036	△19.4	4,652	△30.7	2,414	△41.7
2019年3月期第2四半期	75,546	2.9	5,006	△7.8	6,714	△4.6	4,142	5.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △349百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 5,450百万円 (△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	49.20	—
2019年3月期第2四半期	84.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	169,944	86,530	46.6	1,613.18
2019年3月期	172,433	88,886	47.4	1,665.52

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 79,183百万円 2019年3月期 81,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	△2.3	6,600	△32.3	7,600	△35.1	4,100	△41.7	83.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	49,757,821株	2019年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	672,624株	2019年3月期	672,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	49,085,286株	2019年3月期2Q	49,035,161株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、米中貿易摩擦の影響がグローバルに拡大し景気の先行きに不透明感が増す状況となりました。中国では成長鈍化が鮮明になり、その影響は中国経済に依存する周辺のアジア各国に波及、欧州においてもドイツを始め景気の減速が鮮明となりました。米国経済は堅調さを維持していますが、貿易摩擦の影響が徐々に拡大し、景気持続のための金融緩和策が実施されました。英国のEU離脱問題や中東、東アジアの地政学リスクは依然予断を許さない状況が続いています。

一方、日本経済は比較的安定した状況にはありますが、米中貿易摩擦による需要の停滞で輸出部門の業績に下振れ傾向が強まり、景気全般への影響が懸念されます。

このような事業環境のもと、当社事業においては自動車・建設機械業界向け事業での販売の停滞及び半導体業界向け事業での需要回復の遅れ等で、全体として売上、利益とも前年を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は722億90百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は40億36百万円（前年同期比19.4%減）、経常利益は46億52百万円（前年同期比30.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億14百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品が世界の自動車生産台数の減少の影響を広く受けたことにより、当セグメントの売上高は447億44百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益は14億76百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、日本市場が堅調に推移したことに加え、インド及びアジア地区ではOEM及びプラント向けが伸張し、当セグメントの売上高は161億65百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は21億63百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、データセンターやメモリーメーカーの投資抑制の傾向が続いたことにより半導体市場全体が減速し、当セグメントの売上高は32億80百万円（前年同期比18.5%減）、営業損失は4億63百万円（前年同期は営業利益79百万円）となりました。

[舶用業界向け事業]

当事業は、新造船需要が底を打ち、修繕部品も緩やかな回復基調に戻ったことにより、当セグメントの売上高は53億4百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は5億55百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、衛星用大口製品の販売において下期へのずれ等があり、当セグメントの売上高は27億95百万円（前年同期比3.4%減）となりました。営業利益はプロダクトミックス等により2億94百万円（前年同期比61.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,699億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億88百万円減少しました。これは主として売上債権が10億84百万円、未収還付消費税等が5億92百万円、投資有価証券が4億52百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は834億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少しました。これは主として賞与引当金が8億12百万円増加した一方、未払法人税等が8億87百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は865億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億55百万円減少しました。これは主として利益剰余金が7億70百万円増加した一方、為替換算調整勘定が36億50百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、自動車向け製品市場の下振れや、為替の影響等を踏まえ、2019年8月1日の「2020年3月期 第1四半期決算短信」に公表しました連結業績を下記のとおり修正しました。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	151,000	7,900	9,900	5,600	114.09
今回修正予想 (B)	146,000	6,600	7,600	4,100	83.53
増減額 (B-A)	△5,000	△1,300	△2,300	△1,500	—
増減率 (%)	△3.3	△16.5	△23.2	△26.8	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	149,361	9,755	11,703	7,032	143.35

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,349	21,871
受取手形及び売掛金	28,669	28,281
電子記録債権	2,902	2,205
商品及び製品	7,158	6,949
仕掛品	7,686	5,858
原材料及び貯蔵品	7,201	9,514
その他	6,867	5,807
貸倒引当金	△90	△77
流動資産合計	81,744	80,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,894	22,800
機械装置及び運搬具(純額)	23,481	24,294
その他(純額)	18,237	16,439
有形固定資産合計	63,614	63,534
無形固定資産		
のれん	2,726	2,440
その他	2,874	2,607
無形固定資産合計	5,601	5,048
投資その他の資産		
投資有価証券	13,476	13,024
その他	8,105	8,034
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	21,473	20,950
固定資産合計	90,688	89,534
資産合計	172,433	169,944

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,945	7,746
電子記録債務	2,907	2,944
短期借入金	14,505	14,662
未払法人税等	2,059	1,172
賞与引当金	2,509	3,322
その他の引当金	6	37
その他	11,521	12,120
流動負債合計	41,456	42,006
固定負債		
長期借入金	23,391	23,008
引当金	318	315
退職給付に係る負債	16,681	16,606
その他	1,700	1,477
固定負債合計	42,091	41,407
負債合計	83,547	83,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,310
利益剰余金	66,708	67,479
自己株式	△224	△224
株主資本合計	88,285	89,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470	428
為替換算調整勘定	△2,414	△6,064
退職給付に係る調整累計額	△4,588	△4,236
その他の包括利益累計額合計	△6,532	△9,872
非支配株主持分	7,133	7,347
純資産合計	88,886	86,530
負債純資産合計	172,433	169,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	75,546	72,290
売上原価	57,256	55,202
売上総利益	18,289	17,088
販売費及び一般管理費	13,283	13,051
営業利益	5,006	4,036
営業外収益		
受取利息	127	114
受取配当金	11	13
持分法による投資利益	1,118	1,035
為替差益	285	—
その他	437	363
営業外収益合計	1,980	1,526
営業外費用		
支払利息	178	200
為替差損	—	562
寄付金	45	0
その他	48	146
営業外費用合計	272	910
経常利益	6,714	4,652
特別利益		
固定資産売却益	18	12
特別利益合計	18	12
特別損失		
固定資産売却損	4	41
固定資産除却損	13	102
減損損失	94	—
特別損失合計	112	144
税金等調整前四半期純利益	6,620	4,521
法人税等	1,932	1,280
四半期純利益	4,688	3,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	545	826
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,142	2,414

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	4,688	3,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△41
為替換算調整勘定	406	△2,869
退職給付に係る調整額	365	331
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△1,011
その他の包括利益合計	762	△3,590
四半期包括利益	5,450	△349
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,026	△925
非支配株主に係る四半期包括利益	424	575

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（たな卸資産の評価方法の変更）

従来、商品及び製品は主として先入先出法、原材料及び貯蔵品は主として移動平均法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法に変更しました。この評価方法の変更は、基幹業務システムの導入を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	49,459	14,486	4,024	4,683	2,892	75,546	—	75,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74	57	—	11	—	143	△143	—
計	49,534	14,544	4,024	4,694	2,892	75,690	△143	75,546
セグメント利益	2,744	1,609	79	396	181	5,012	△5	5,006

- (注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	44,744	16,165	3,280	5,304	2,795	72,290	—	72,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	68	—	4	—	143	△143	—
計	44,815	16,234	3,280	5,309	2,795	72,434	△143	72,290
セグメント利益又は損失（△）	1,476	2,163	△463	555	294	4,026	10	4,036

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より経営管理区分を見直し、報告セグメントを従来の「自動車・建設機械業界向け事業」、「一般産業機械・半導体業界向け事業」、「船用業界向け事業」及び「航空宇宙業界向け事業」の4区分から「自動車・建設機械業界向け事業」、「一般産業機械業界向け事業」、「半導体業界向け事業」、「船用業界向け事業」及び「航空宇宙業界向け事業」の5区分に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの区分により組み替えて表示しております。